

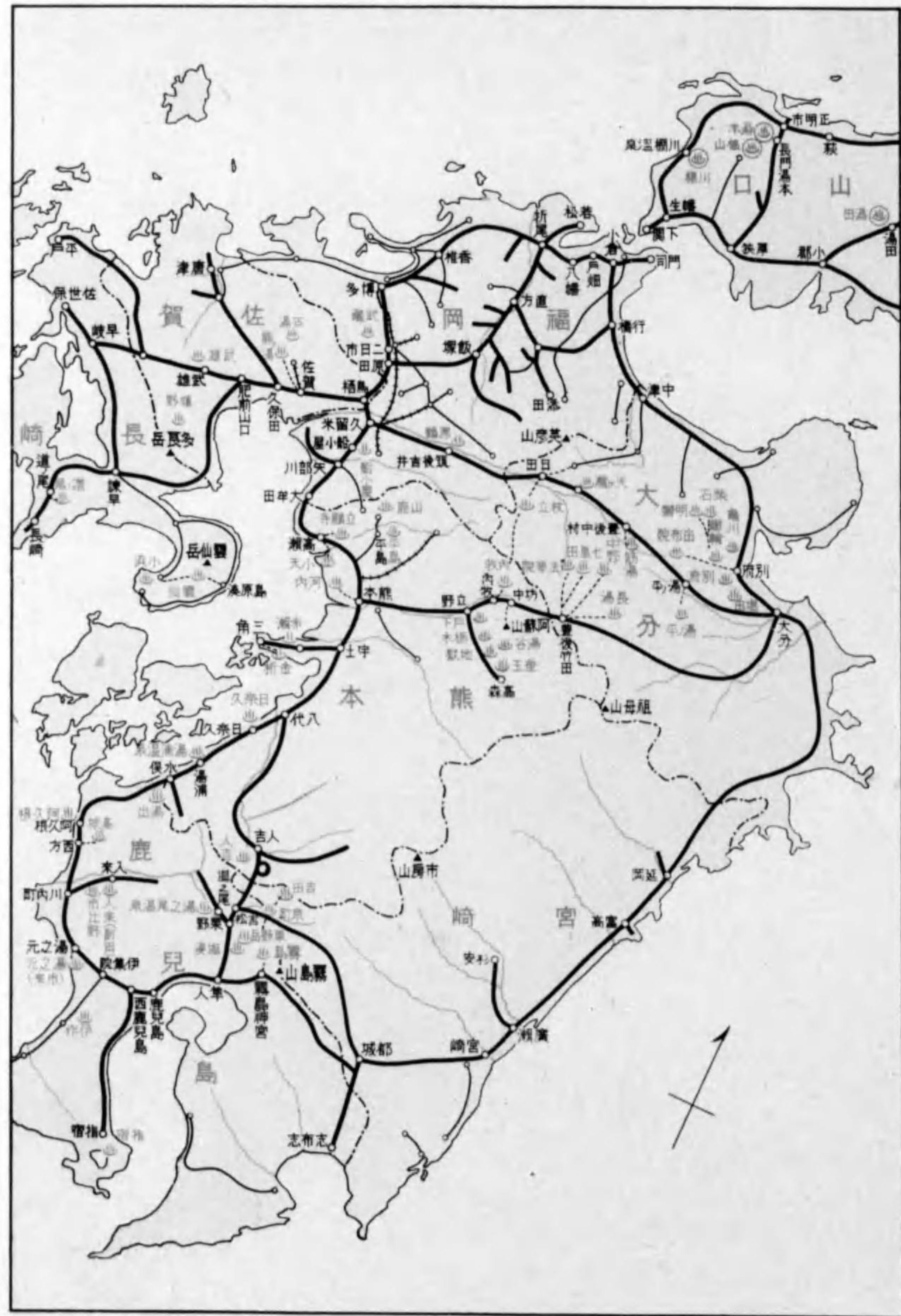
關東地方溫泉泉案內圖



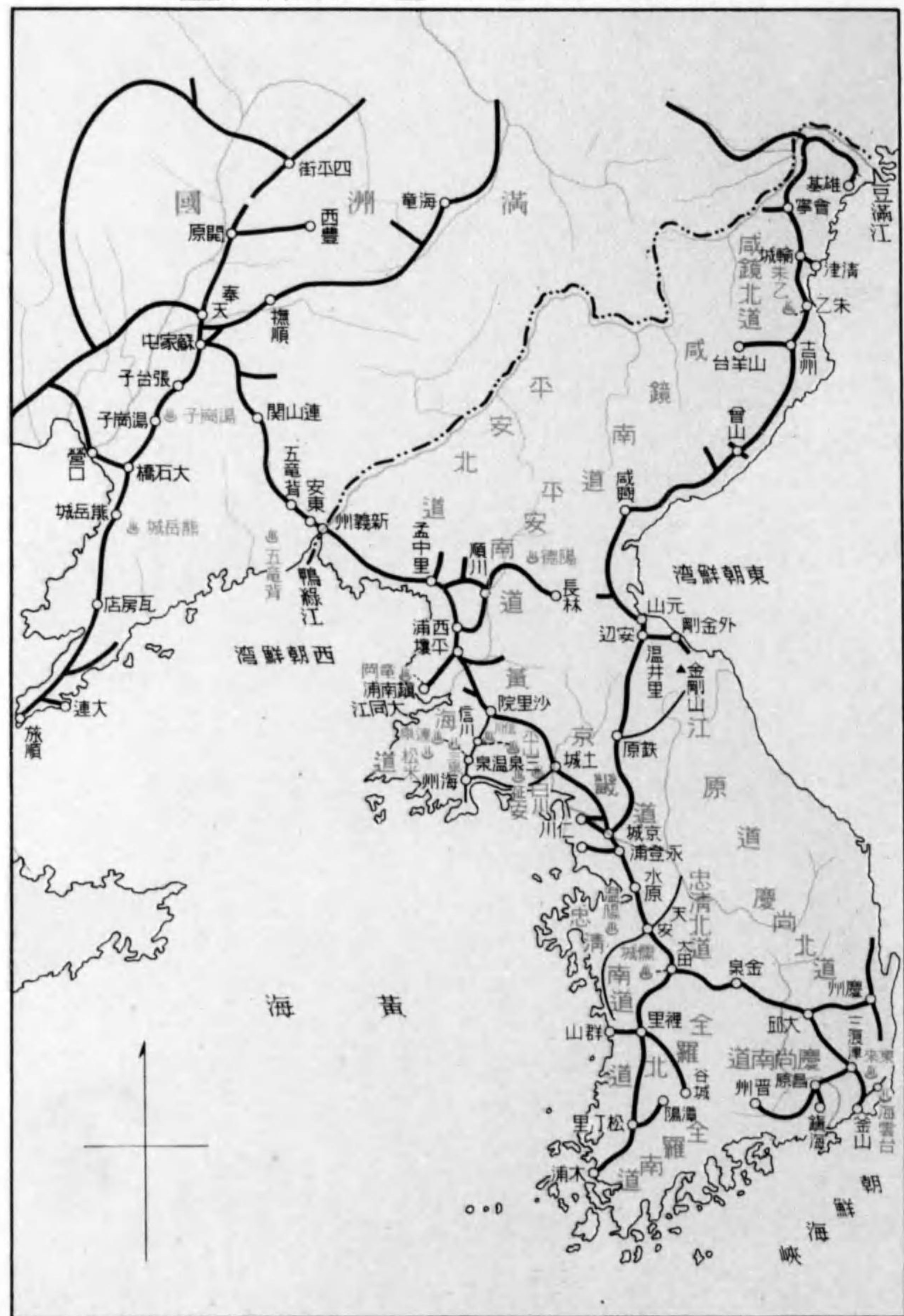
中部地方温泉案内圖



九州地方温泉案内圖



朝鮮滿洲地方溫泉泉案內圖



索引

有馬湯山道記	三七、三九	アルカリ泉	三五二、三五三、三七四、四三一、四四三、四五二
— 温泉試説	二〇四	稻生若水	三三
— 盛衰史	二一九	伊香保志	六〇
— と柘植龍州	三三三	伊太利の温泉治療の發達	八〇
— の洗浚工事	三三五	— 觀光事業	八三
熱海温泉試説	四五	— の温泉氣候療法	八四
— 考	五二	石津利作	六四、六五
— の大湯	一〇三	— 谷傳一郎	六四
— 案内	五四	— 川成章	六四
赤倉ノ湯	四八	如何にして獨逸の温泉は進歩せしや	七一
味に因んだ温泉名	一〇三	色に因んだ温泉名	一〇三
案内記は信用狀である	一七五	— を白くする湯治場	五七
荒井寛齋	二七三	飲用水	四〇
巻法	四九七	— 泉法	四一
アンケルスティン	七五	— 水の温度	四〇
アルプス登山の折	八三	硫黄泉と火山	二八九
アルコール飲用禁止	一五一		

アルカリ泉	三五二、三五三、三七四、四三一、四四三、四五二	硫黄精煉法	二九〇
稻生若水	三三	— 泉	三六一、三七七、四一五、四五三、四五五
伊香保志	六〇	胃腸と泉水	四四四、四二五
伊太利の温泉治療の發達	八〇	— 病に飲む泉類名	四四四
— 觀光事業	八三	— 病と泉效	四四九
— の温泉氣候療法	八四	— 酸に效く温泉	四四九
石津利作	六四、六五	— 腸病特效の温泉	五〇七
— 谷傳一郎	六四	萎縮肝	四七三
— 川成章	六四	イオン表による分析表	六二、三四八
如何にして獨逸の温泉は進歩せしや	七一	— 系による温泉大別	三四三、三四七、四〇九、四一一、四二五
色に因んだ温泉名	一〇三	— 分類色別泉質構圖	三六二
— を白くする湯治場	五七		
飲用水	四〇		
— 泉法	四一		
— 水の温度	四〇		
硫黄泉と火山	二八九		

宇津木昆臺の温泉辨	三三		
— の假造泉	三七一		
宇田川榕菴	四一、一八七		
— の温泉試説	一八七		
— と化學	一八八		
— の温泉研究年次	二〇二		
— 時代の温泉觀	二二二		
— の温泉效能説	二二四		

索引

五七九

温泉知識

温泉の開発	一八二
葡萄酒	四七三
ウイスキー	一八二、五七
ウイールヘルム・ケ・ケルクホーフ	二六二
え(急)	
遠西假造泉	二七二
鹽化土類含有食鹽泉	三五五
鉛毒	四七一
エムス温泉と研究所	二〇〇
き(お)	
温泉國策樹立の要	一
治療學研究所	二二、九
(獨逸)治療學會	一三、六
地の衛生問題	一四
厨房	一五、五
治療補修講習會	二
に關する團體名	二
論	一〇、三三
説の發達	五二

場改革案	五
起原考略	六〇
療養方針	六六
と保健	六六
研究論文發表	二六
地の傳染病	二四、四三
と風景	八七
地の旅館	九〇
名考	九二
の發見と傳説	一〇七
を發見したる動物	一〇八、一〇九
と崇拜	一一一
浴遊請暇	一一八
の行遊	一二〇
湯治の有様	一二三
地と都會との關係	一二七
地の衛生的組織	一三三
地域	一三五
道路	一四一、一三七、一三八
交通機關	一四二
建築	一四六、一四五
下水	一四二

五八〇

靜肅	一四四
に於ける獨逸國の申し合せ	一四八
の救急手當	一五二
の取締	一五四
取締法	一五七
と地變、亂擊	一六七、一七五
案内記	一六七、一七〇
記載要目	一六七、一七〇
地開發は緊急の觀光事業である	一七七
に設置すべき事	一七九
雜記	一九一、二〇九、二一四
もと話	二二二
地と中立地帯	二二五
療法の禁忌症	二二九
變方	二六八
小説	二六九
の生成	二七三
涌出	二七六
に含まれる主要物質	二七七
分類の試案	二八二
泉水含有固形物量	二八四、二八六

索引

に關する警告	三七一
治療の基礎的知識	三九六
療法と水治療法との差異	三九九
治療各論	四四四
發見年代記	五一九
典籍現在書目録	五五四
温度に因んだ温泉名	一〇一
浴	
と血壓	三四〇、四三五
の醫療效果	四〇二
太田雄孝	四〇四
大内青嶺	四〇五
大槻文彦	五三
大塚陸太郎	五四
緒方正清	六〇
小川琢治	六一
鬼首吹上間歇泉	六五、三三四
黄疽	九〇
オツチリエン泉	四七四
オガ	一一三
	三二六

か

香川太沖の温泉説	三六、三三、三三三
貝原益軒	三七
河合章菟	三七
川に因んだ温泉名	九六
一口孫治郎	一〇九
留	一一五
假説鑛泉法	一二三
造泉	二二七
海水浴	二五八
洋氣候	四四〇
氣候と海水浴	五〇一
柱圓玉	五〇四
間歇泉	三八一
含砒綠礬泉	三三九
交感神經	三六一
高山病	四一一
氣候	四三三
風	四四〇
肝臓及び脾臓病	四三六
	四七三

外傷

火傷 打撲特效の温泉

外傷	四七三
火傷 打撲特效の温泉	五一三
眼病	四九四
特效の温泉	五一六
カールスバット	六、七
カベツル	八六
き	
氣候と天候	一七七、七七、四三三
療法	四三三
の要素	四三三
の分類	四三四、四四〇
歴	四三四
流	四三七
衣笠豊	六四
強食鹽泉	三五四
吸入	四三〇
の方法	四三一
キシンゲン温泉國立研究所	一九
觀光政策	二

温泉知識

- 事業の目的と温泉 一七〇
- 協会と温泉協会 一七九
- 倉谷安齋 一八〇
- 温泉氣候療法 一八〇
- 法 一八〇
- 施行規則 一八〇
- 山と温泉との問題 一八〇
- 泉の醫治効果 一八〇
- 雲助 一八〇
- 空氣浴 一八〇
- 腹と飲泉 一八〇
- 汲湯 一八〇
- 草津温泉の時間湯 一八〇
- に關する文獻 一八〇
- の入浴時間制度 一八〇
- 入湯案内記 一八〇
- 化石水 一八〇
- 苦味泉 一八〇
- 乾癬 一八〇
- 脚氣特效の温泉 一八〇

け

- 下痢 四七〇
- 結核と入浴 四七〇
- 血行循環障害 四七〇
- 液病 四七〇
- 錫經期婦人脂肪症 四七〇
- 月經と泉效 四七〇
- 後藤良山 四七〇
- 越泉譜 四七〇
- と宇田川榕菴 四七〇
- 今日新湯 四七〇
- 小村英菴 四七〇
- 家の家歴 四七〇
- 松原勝造 四七〇
- 五井塘南 四七〇
- 龍背温泉 四七〇
- 興城温泉 四七〇
- 呼吸器病に效く泉水 四七〇
- 特效の温泉 四七〇

五八二

- 子賣の湯 五八二
- 供の瘡の温泉 五八二
- 酒井谷平 五八二
- 澤元愷 五八二
- 山海關 五八二
- 酸性綠礬泉 五八二
- 砂漠氣候 五八二
- 坐骨神經痛に效く泉水 五八二
- ザルツブルンネン温泉研究所 五八二
- サロモンカルグイの警告 五八二
- 舍密開泉 五八二
- 外篇第一函 五八二
- 諸國温泉試説 五八二
- 新宮涼庭 五八二
- 社団法人日本温泉協會 五八二
- 鹽に因んだ温泉名 五八二
- 蒸氣浴 五八二
- 人工鑛泉と天然鑛泉 五八二

信夫高湯の鑛毒問題について

- 位置 二八五
- に於ける硫黃精煉工場 二八五
- 循環水 二八五
- 處女水 二八五
- 自然に異變を作為しない 二八五
- 食鹽含有アルカリ泉 二八五
- 及芒硝含有アルカリ泉 二八五
- 含有土類泉 二八五
- 含有苦味泉 二八五
- 芒硝苦味泉 二八五
- 石膏苦味泉 二八五
- 正苦味泉 二八五
- 浴 二八五
- 特續湯 二八五
- 温度器法 二八五
- 湿度 二八五
- 森林氣候 二八五
- 消化器病 二八五
- 心臓病と泉水 二八五
- 神經疾患 二八五

索引

痛と入湯

- の特効温泉 四六一
- 脂肝病 四六一
- 小兒の呼吸器カタール 四六一
- 子宮洗滌 四六一
- 周圍炎 四六一
- 腎臓疾患 四六一
- 結石 四六一
- 紫外線の效果 四六一
- 新陳代謝病に效く温泉 四六一
- 痔疾の特効温泉 四六一
- 水銀中毒 四六一
- 全國温泉鑛泉に關する調査 四六一
- 西洋鑛泉譜 四六一
- 石油泉 四六一
- 含有食鹽泉 四六一
- 性苦味泉 四六一

泉水の分類別

- の溶液 四六一
- 體內に於ける作用 四六一
- 浴の效果の綜覽 四六一
- 背體病と泉效 四六一
- 特效の温泉 四六一
- 腺病 四六一
- 者の手當泉效 四六一
- 特效の温泉 四六一
- 性病特效の温泉 四六一
- 癢痒 四六一
- 平活齋の温泉説 四六一
- 但馬湯治指南車 四六一
- 但泉紀行 四六一
- 竹中邦香 四六一
- 高安慎一 四六一
- 武田軍治 四六一
- 泰西鑛譜 四六一

五八三

温泉知識

炭酸瓦斯と地獄 三三八
 泉 三三三、三三三、三八〇、四二七、四五七
 含有食鹽温泉 三五五
 浴 四一三
 單純泉 二四四、三七七、三七九
 痰の湯 四三一
 多血性肥滿 四七三
 膽石 四七四

ち

治療新論 五〇
 中性温度浴 四〇〇
 の閾界度 四〇一
 高山氣候 四四一
 風動脈硬化症特效の温泉 五二四
 窒素吸入 四三三
 腸と泉水 四三〇
 聴器疾患 四九五
 チレニウス 二四、五、一八、七五

柘植叔順(龍州)の温泉説 三〇
 と有馬温泉 二八
 の家歴 三〇〇
 の有馬温泉救済策 三三三
 夫人節衛 三六
 の假造泉 二七〇
 ツインキル 三六

て

天泉の温泉行幸 二一七
 然泉と人工泉との比較 四三三
 候 四三三
 手形 二〇
 泥浴 二五五、四六四
 鐵泉 三五八、三七八、四二八
 轉地 四四一
 テプリッツ温泉 二五七

と

獨逸温泉治療學會 一三
 危險豫防協會 一五〇
 豆州熱海誌 五四

五八四

動物に縁ある温泉名 一〇五
 熱と死熱 二四九
 脈硬化症 四四三
 湯崗子温泉 三〇四、三二六
 の泥浴 三〇四
 七類泉 三五三、四五三
 含有アルカリ泉 三五三、三八一
 炭酸泉 三五四、三七四
 含有食鹽泉 三五六
 透電作用 四二五
 糖尿病 四六九
 特效の温泉 五〇七
 ドルノ線 五〇三

な

長興專齋 一一、五九
 中島桑太 五二
 内務省衛生局雜誌 五三
 ナウハイム温泉(療養客統計) 四、七、一〇
 の新研究所 二六二

飛彈の鳥 一〇九
 引出物と泉水 二六七
 瘡病 三三九
 砒温泉 三六〇
 皮膚 四〇、四二二
 病 四八五
 に効く泉水 四八六
 特效の温泉 五一
 比較的湿度 四三七
 貧血に効く泉水 四六六
 血性肥滿者 四七三
 脾臓病 四七四
 泌尿器疾患 四八九
 鼻病 四九五
 避暑避寒の湯治場 五一八
 ヒルモンド温泉 二五四
 ヒボコンデリー 四六二
 ヒステリー 四六三

索引

日本温泉協會 一一
 鐵泉誌 一一、五八
 温泉學の發達 二二
 温泉誌 三五
 温泉考 五五
 鐵泉論 五六
 轉地療養誌 六一
 鐵泉分析表 六一
 温泉氣候學會 六七
 温泉と風景 九一
 の分佈 三六五
 統計 三七九、三七〇
 に於ける泉質別けの温泉所在 三七九
 光 四三八
 西川義方 六七
 新帶技師の滿洲國温泉考案 三三三
 入浴 三九九
 に関する注意 四五七、四六五
 妊婦の入湯 四〇〇

ね

熱病患者と水治療法 二四五

ネンドルフ鐵泉 二五五

の

野島小八郎 二八二
 腦充血に効く泉水 四三八
 溢血と泉浴 四九九
 神經病特效の温泉 五二二

は

原雙挂の温泉説 二九
 花巻温泉の演舞場經營 一四七
 哈倫阿爾山温泉 三二五、三三八
 放射能作泉 三六三、三七八
 肺結核の氣候療法 四四三
 と泉效 四五三
 一氣腫の森林療法 四五六
 膀胱炎 四九〇
 微毒 四九三
 反應性(刺戟性)巻法 四九七、四九八
 パーデンパーデン 一一四
 パードクロニツク 二四七

ひ

飛彈の鳥 一〇九
 引出物と泉水 二六七
 瘡病 三三九
 砒温泉 三六〇
 皮膚 四〇、四二二
 病 四八五
 に効く泉水 四八六
 特效の温泉 五一
 比較的湿度 四三七
 貧血に効く泉水 四六六
 血性肥滿者 四七三
 脾臓病 四七四
 泌尿器疾患 四八九
 鼻病 四九五
 避暑避寒の湯治場 五一八
 ヒルモンド温泉 二五四
 ヒボコンデリー 四六二
 ヒステリー 四六三

ふ

五八五

温泉知識

藤浪剛一	六六
扶氏の水治療法提唱と實施	二四三、二四五
温泉治療學研究	二四六
温泉地行政	二四七
時代の温泉效果成績	二四七
の化學分析觀	二四九
温泉分類	二五三
布施廣雄	二八四
吹上温泉	三三九
沸騰泉	四三三
風土	四六三
舞蹈病	四七九
婦人病	五〇九
特效の温泉	四九八
不透性反應器法	六
フランチェスバード	一三
フリーランド	六六
と温泉治療	一二、一八、七五
アレーメル	三五九
フェロイオン	三五九
フェリイオン	四九七
ブリースニッツ	

用法

別府市外の地獄	八九
兵衛坊元式	三三
北載河	三〇九
平地氣候	四四一
ヘールツ	五五
ベルツ	五六
氏の温泉改革說	一四六
本朝温泉雜稿	三八、二四
一邦温泉論考	六六
豊大開と有馬湯治	一三〇
保養地取締法施行	一五四
芒硝含有アルカリ泉	三五三
性食鹽泉	三五五
食鹽泉	三五六
性苦味泉	三五七
飽和度	四三六
ホフマン	一二

五八六

ホツシユの提案	一五五
眞鍋嘉一郎	五三
滿洲國温泉を巡りて	二九八
名表	三三〇
政策	三三四
麻痺に效く温泉	四四九
慢性鐵物中毒	四七一
子宮實質炎	四八一
濕疹に效く温泉	四八七
三宅意安	三八、二四
秀	五三
水の力學的器械的作用	四〇七
ミリヴル	三五〇
モル	三五〇
昔の温泉行遊	一一四
蒸し風呂	四〇七

め

明礬泉	三六〇、三七七
綠礬泉	三六〇
迷走神經	四二
沐浴忌日	四〇
模範的温泉設備	一八四
モルイオン	三四九
藥湯	二六
山村通巷	四八、一五、二六八
湯澤の湯	四九
に因んだ温泉名	九四
一女	一一一
一當り	四七、四二七
游具略	一三九
熊岳城温泉	二九六、三三五

よ

浴醫	七三、二五一
一劑	二四四
沃度泉	三六一
讀み難き温泉地名	五五一
卵巢	四八二
ラヂウムエマナチオン	六四、四一六
ラ泉	五〇三
龍窩	三五、三六
硫化水素瓦斯泡浴	三五六
泉	三六一
吸入	四三一
綠礬泉	三六〇、三七六
流産と泉效	四八五
リユマチスムス	四六二、四六五
特效の温泉	五〇八

れ

冷水浴	二四三
效果	二四三
湯	四〇〇
ローベルク市の温泉問題	一七、七七
ロシア式蒸風呂	二四三、四六六

索引

引

昭和十三年九月二十三日印刷
昭和十三年九月二十八日發行

溫泉知識

定價金五圓

著者

藤浪剛一

發行者

東京市日本橋區通二丁目六番地
丸善株式會社
右代表者 取締役 金澤末吉

印刷者

東京市小石川區久堅町百八番地
君島潔
共同印刷株式會社印刷

著作權所有



發行所

東京市日本橋區通二丁目
(振替口座東京第五番)

丸善株式會社

60
1526

60
11

終